ひたちなか市立東石川小学校　《校訓》 正直　礼儀　親切

東石川通信

TEL　029-272-2308
令和3年12月24日（金）
No.13 校長 安島 孝博
全校児童数　461名

元気なあいさつで今年を締めくくり

　年の瀬、子どもたちは元気いっぱい外遊びで身体を動かしています。また、縦割り班でのあいさつ運動の効果も見せ始め、自分からあいさつができる児童が増えてきました。先日のこと、昭和通りで落ち葉はきをしていた方からお手紙をいただきました。
「小学生に『おはようございます。ごくろうさまです。』と声をかけられ、元気が出ました。」
という内容でした。子供たちも励みになる言葉に、ますますあいさつの声が大きくなりそうです。
　本日で今年の授業は終了し、明日から冬休みです。感染症の不安が収まらない中、年末年始の過ごし方も考えることになります。ご家庭にもご協力のほどお願いいたします。
　保護者の皆さま、地域の方々には、今年も様々な面でご協力いただき、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

輝かしい活躍（表彰関係）

○ナイスハートふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ2021 美術展
　２年　鎌田　恭輔　　２年　黒澤　汰佑　　５年　阿部　海音　　５年　渡辺　光
　６年　寺西　晴希

○令和３年度ひたちなか市あなたの住むまち自慢絵画コンクール　高学年の部
　優秀賞　　６年　佐藤　煌斗

○実用数学技能検定　９級　３年　武田　晴琉

○ひたちなか市教育研究会主催読書感想文コンクール　入選
　１年　赤塚　恵太　　２年　古市　唯芽乃　　３年　赤塚　壮介　　４年　森谷　愛子
　５年　樋渡　優翔　　６年　坪内　伶旺

○県小中学校芸術祭小中学校美術展覧会
　＜書写の部＞　　２年　深堀　愛子
　＜絵画・デザインの部＞　６年　井上　真愛

○ 2021 年全国そろばんコンクール　５年生の部　５年　久保田　太貴

○令和３年度火災予防ポスターコンクール
　優良賞　　４年　島田　敦叶

○日本ハム杯第２３回関東学童軟式野球秋季茨城県大会
　準優勝　オール東海ジュニア　５年　原島　旺大

○三笠宮杯　全日本ﾀﾞﾝｽｽﾎﾟｰﾂ選手権ｼﾞｭﾌﾞﾅｲﾙ　ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　準優勝　　４年　加藤　向葵

○みんなにすすめたい一冊の本推進事業　３００冊
　県知事賞　４年　岡﨑　楓　　６年　熊谷　桜子　　６年　正光　ちひろ
　　６年　赤坂　哲　　６年　菊地　夏帆

○茨城県交通対策協議会　交通安全ﾎﾟｽﾀｰ作品ｺﾝｸｰﾙ
　優秀賞　　６年　勝村　陽向

○Fll Explore2021-2022 Japan EXPO ２月２０日（日）に行われる全国大会に出場決定！
　３年　赤塚　壮介　　１年　赤塚　恵太　　１年　布施　伴理

＊東石川小の子供たちが大会やコンクールで輝かしい成績を収めました。今後の活躍もご期待ください。

おやじの会　扇風機清掃　12/11

１２月１１日（土）おやじの会メンバー８名が集まり、教室の天井についている扇風機をきれいに洗ってくださいました。普段学校に来る機会の少ないお父さん方。教室内の様子を見たり、電子黒板に驚いたりしながら作業をしました。「人数の多い学級は、ほこりもすごいな」「これがうちの子の描いた絵か」などと、お父さん同士で交流しながらの作業になりました。定期的に作業をしてくれるおやじの会の方々、本当にありがとうございました。教室には、新しい風が吹き込んできました。

陣太鼓体験学習　12/21

ひたちなか市の伝統文化「陣太鼓」に触れる貴重な体験学習を行いました。小池明弘さん、小池陽太さん、橋本孝治さんの３名を講師としてお迎えし、４・５年生の子供たちにご指導いただきました。「たたき方で音が変わることが分かった」「難しかったけど、だんだん慣れてきて、楽しかった」など短い時間でしたが陣太鼓のよさに触れることができましたく活動できました。

陣太鼓の保護者会の皆様には、太鼓の運搬・会場設営などご協力をいただきました。感謝申し上げます。これから、陣太鼓に挑戦しようという子供たちが１人でも増えることを願っています。

”社会を明るくする運動”作文コンテスト　県知事賞　6年　大友　貫嗣

皆さんは、ゴモラを知っていますか。

ゴモラとは、ウルトラマンに出て来る耳が三角で角がはえている特に人気が高い、かいじゅうです。ぼくも好きだったかいじゅうです。そんなゴモラが我が家の神だなからいつも見守っています。

なぜゴモラが我が家にいるのかと言うと、ぼくが３歳のころにさかのぼります。

その日は家族みんなでショッピングモールへ行って、買い物をしたり、途中でウルトラマンショップに立ち寄った後、帰りに、ラーメン屋さんで夕食を食べました。

ラーメンを食べ終わった後にポケットからニコニコしながらゴモラの指人形を出しました。自分では、覚えていませんが当時は、悪い事とは知らずに持って来てしまいました。それを見たお父さんは、急にまじめな顔になって、急いで他の家族を家に送り届けて、ぼくと二人でウルトラマンショップへもどりました。そして、店員さんに、

「うちの息子がオモチャを持って来てしまい大変申し訳ございませんでした。」

と真剣な表情であやまりました。店員さんは、

「子どもがやった事ですから大丈夫です。」

と笑顔でゆるしてくれました。けれど、お父さんは、

「わるい事はわるい事ですから。」

と謝罪をしました。そして、けじめとしてゴモラの代金を払って、二人で頭を下げて家に帰りました。

家に帰ると、お父さんは、神だなの上にゴモラを乗せました。その後、二人で手を合わせました。その時はまだよくわかっていなかったので、

「ゴモラちょうだい。」

とお母さんにおねだりをした時に、

「それは違うよ。オモチャじゃないよ。」

もう一度、

「ゴモラちょうだい。」

と、しつこくおねだりすると、お母さんは、やさしく言いました。

「かんじがこれから同じ事をくりかえさないように、ゴモラの神様が神だなから見守っているからね。」

と言われました。

これが我が家にゴモラの神様がいる理由です。ぼくは、お父さんからは謝り方について身をもって教えてもらいました。またお母さんから一度間違いを犯しても、同じことをくり返してはいけないと言う事を教わりました。ぼくはお父さんとお母さんから教わった事で今まで大変な間違いを犯す事はありませんでした。ぼくはこの家庭の中で育ってこれて良かったです。将来子どもが出来たら、教えられるような家庭を作り、出来れば社会全体でこのような教えを広げたいです。

６年生になった今もゴモラの神様は、ぼくをを見守っています。